

福祉サービス第三者評価結果の公表ガイドライン

①第三者評価機関情報

評価機関名：	社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会
訪問調査実施期間：	平成25年8月29日（木）

②事業者情報

名称：	社会福祉法人米子福祉会 五千石保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	理事長 岸岡 和男	定員（利用人数）：	90名（86名）
所在地：	米子市八幡715-1	TEL	0859-26-0130

③総 評

◇特に評価の高い点

1. 地域との交流と連携に向けた取り組みについて

園長を先頭に、職員が一丸となって子ども達の保育に、保護者の子育て支援に取り組んでおられます。特に、地域との交流と連携に向けた取り組みについては、地域の敬老会、公民館祭り等に参加し、地域と保育所の相互交流を促進しておられます。また、地域の子育てサークルへ参加し、絵本の読み聞かせや子育て相談を行うなど、保護者が安心して子育てができるよう地域の子育て拠点としての機能を果たしておられます。

◇改善を求められる点

1. 中・長期計画の策定について

法人の保育理念や基本方針の実現に向けたビジョン（目標や展望）を明確にし、そのビジョンを実現するために、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成等に関する具体的な中・長期計画の策定が望まれます。

2. 職員の資質向上に向けた取り組みについて

人材の能力開発・育成の視点で、客観的な基準に基づいた人事考課を実施するとともに、人材育成計画に基づく個別職員の研修計画の実施が望まれます。

3. 外部監査の実施について

客観的に経営上の改善課題を把握するためにも、外部監査に取り組まれることが望まれます。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受審し、当法人の不足している部分、改善すべき点が明確になりました。中・長期計画について、今までは分野ごとに作成しておりましたが、ご指摘をいただいたことで、総合的な中・長期計画の必要性を感じました。外部監査、人事考課につきましても、導入に向け取り組みを進め、その他の項目につきましても、今後の改善につなげてまいります。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙のとおり

福祉サービス第三者評価結果

※すべての評価項目（53項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・b・c	①②法人の保育理念（～笑顔に出会える保育園 保護者と地域とともに～）と基本方針を入園のしおりや法人のホームページに掲載、また、園内にも掲示され、保育園の使命や目指す方向が示されています。
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・b・c	
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・b・c	①理念や基本方針は、各部屋に掲示され、いつでも見られるようにしておられます。また、年2回実施している自己評価にも理念等について振り返る項目があり、職員に理解を促す取り組みを行っておられます。 ②保護者へは、「入園のしおり」に掲載し説明をし、地域住民へは、子育てサークルや公民館祭り等行事の際に伝えておられます。
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・b・c	

Ⅰ-2 事業計画の策定

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a・b・Ⓒ	①中・長期計画は、策定されていません。現在、法人本部と策定に向けた話し合いをされています。 ②中長期計画の内容を、各年度の事業計画に反映させることが望まれます。
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・b・Ⓒ	
Ⅰ-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
Ⅰ-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	a・b・Ⓒ	①②③事業計画は策定されていますが、行事を中心とした内容になっています。各年度の事業計画は、具体的な中・長期計画の内容及び中・長期の収支計画の内容を反映して、運営計画を含めた事業計画を策定されることが望まれます。
Ⅰ-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	a・b・Ⓒ	
Ⅰ-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	a・b・Ⓒ	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

評価項目	第三者評価結果	コメント
I-3-1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-1-1) ① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・b・c	①園長の役割と責任が、園の業務分担表に明文化されています。また、機会ある毎に職員に対して表明しておられます。また、有事（災害、事故等）の際のマニュアルにも明確化されています。 ②園長は、法人経営に関する内部研修に参加し、遵守すべき法令等を職員へ伝達しておられます。また、新人職員には、規程を配布され周知に努めておられます。
I-3-1-1) ② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c	
I-3-2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-2-1) ① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c	①園長は、保育理念に基づき保育サービスの質の向上を高めるため、保育サービスに関する資料を全職員に供覧し、職員会でも伝えておられます。 ②月2回園長会を開催し、法人本部が作成した経営分析の資料を基に、業務の効率化や改善に向けて勉強会を行っておられますが、さらに指導力を発揮されることを期待します。
I-3-2-1) ② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a・Ⓑ・c	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-1-1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-1-1) ① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a・Ⓑ・c	①法人本部が経営面についての実績データを作成し、園長会を通じ園に提供しておられます。保護者に利便性の良い園の立地条件から、広域入所を受け入れておられます。また、一時預かり保育を行い、保護者の要望に対応しておられます。さらに乳児保育の検討を行うなど潜在的なニーズを把握し、それに応えようとしておられます。 ②月2回園長会を開催し、法人本部が作成した経営分析の資料を基に、勉強会を行っておられます。 ③外部監査は実施されていません。客観的に経営上の改善課題を把握するためにも、外部監査に取り組みられることが望まれます。
Ⅱ-1-1-1) ② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c	
Ⅱ-1-1-1) ③ 外部監査が実施されている。	a・b・Ⓒ	

Ⅱ-2 人材の確保・養成

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-1-1) ① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a・Ⓑ・c	①法人本部としてのプランはあります。園としても法人本部と連携して必要な人材や人員体制について検討されることが必要です。 ②新人職員を対象に「人事考課シート」に基づき評価を行っておられますが、結果は十分に活用されていません。人事考課の目的や効果を正しく理解し、客観性や透明性を確保し職員の意識向上につながる取り組みが望まれます。
Ⅱ-2-1-1) ② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a・b・Ⓒ	

II-2-2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-2-1) 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a・ b ・c	①職員の家庭の状況を考慮して毎月シフト、勤務表を作成しておられます。時間外勤務や年休、勤務時間はタイムカードで管理しておられます。個々の職員が有給休暇を有効に活用できる仕組み作りが望まれます。 職員からの相談は、基本的に園長と園長補佐が受けておられます。その他地域産業保健センターの産業医等にも相談できるようになっています。
II-2-2-2) 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a ・b・c	②米子市勤労者福祉サービスセンターに加入し、さまざまなサービスが受けられます。また、職員の親睦を図るため職種ごとにナーサリースクールがあり、そこで勉強会等を行っておられます。
II-2-3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-3-1) 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a・ b ・c	①職員の教育・研修に関する基本姿勢は、基本方針に明示されています。一人一人の職員の資質及び専門性の向上など、組織としての研修の目的を明示し、研修体系を整えることが望まれます。
II-2-3-2) 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a・b・ c	②経験年数、職種等を踏まえた職員全体の年間の研修計画はありますが、職員一人一人についての研修計画は策定されていません。それぞれの職員に求められる知識や技術等について、分析を行い、その結果を踏まえるとともに、職員本人の意向を考慮した個別の研修計画を策定されることが望まれます。
II-2-3-3) 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a・b・ c	③研修後は、研修報告を提出し会議で報告等が行われていますが、個別の研修計画が未策定のため、計画に基づいた評価・見直しとはなっていません。
②		
II-2-4-1) 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	a ・b・c	①実習生の受け入れマニュアルに沿って実習生の受け入れが行われています。園長補佐が相談窓口となり、実習生側の意向を基にプログラムを作成しておられます。

II-3 安全管理

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-3-1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-1-1) 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a ・b・c	①食物アレルギー児緊急対応マニュアル、健康管理マニュアル、食中毒発生時対応マニュアルなどを整備しておられます。 感染症の発生時には、保護者に掲示版等で周知しておられます。また、定期的に不審者対応訓練を実施しておられます。
II-3-1-2) 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a ・b・c	②災害対応マニュアルが整備され、役割分担しておられます。災害が起こった場合に即応するため、保護者の緊急連絡先等の個人情報を記した「引き渡しカード」が作成されています。
II-3-1-3) 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a ・b・c	③食中毒注意報、熱中症警報等の情報を把握し、注意喚起をしておられます。ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で対策を検討しておられます。年1回の遊具の点検の他に、毎日、室内・戸外遊具の安全点検記録簿にチェックし、安全確保の取り組みを行っておられます。

II-4 地域との交流と連携

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・b・c	①五千石地区の敬老会、公民館祭、いきいきフェスタ等に参加し、交流の機会を設けておられます。 ②家庭支援を推進する保育士が、地域の子育てサークル「ごせんごくぼっぼ」で絵本の読み聞かせ、親子の触れ合い遊び、子育て相談を行っておられます。 ③ボランティア受入担当者（園長補佐）は定められ受入を行っておられますが、マニュアルが整備されていません。
II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・b・c	
II-4-(1)-③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・Ⓒ	
II-4-(2) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・b・c	①関係機関、団体のリストとそれらのネットワーク表が作成され、職員がいつでも見られるようになっています。 ②虐待や障害など園児の状態によっては、定期的に、要保護児童対策地域協議会や療育センターなどの関係機関と連携し、ケース会議等を開催しておられます。今後も保育所だけで抱え込むのではなく、日ごろから関係機関との定期的な連絡会を開催するなど、ネットワークを有効に活用して問題解決に当たられることを期待します。
II-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	a・Ⓑ・c	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	a・Ⓑ・c	①子育てサークルから子育て相談を受ける中で、保育ニーズの把握をしておられますが、関係機関・団体等とも幅広く連携する中で、多様で具体的なニーズの把握に努めることが望まれます。 ②保育ニーズを基に、一時預かり事業を実施し対応されています。また、乳児保育についても検討が行われていますが、地域のニーズをもとにした事業計画の策定が望まれます。
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a・Ⓑ・c	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取組を行っている。	Ⓐ・b・c	①理念や基本方針、人権・同和保育の全体計画の中で、基本姿勢が明示され、職員会議等で認識の共有化を図っておられます。保護者向けに、定期的に人権啓発紙「こすもす」を発行し、共通理解を深める取組を行っておられます。 ②マニュアル等は整備されていません。保護者からの信頼を得るためにも、プライバシー保護に関するマニュアル等を整備し、職員に周知する取組を行うことが望まれます。
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a・b・Ⓒ	
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c	①個人懇談、家庭訪問、座談会、保護者会役員会等を通じて子ども・保護者の意向を把握し、改善に向けた取組を行っておられます。

Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・b・c	①相談窓口や意見箱の設置、日々の連絡ノートを活用し、普段から保護者が意見を述べやすい環境を整備しておられます。 送迎の際、保護者の日々の表情をみながら、気分がすぐれないような様子の場合は、職員がさりげなく声かけをするなどして相談しやすい雰囲気心を心がけておられます。 ②苦情解決の体制（受付担当者、責任者、第三者委員の設置）を整備しておられます。また、窓口等の設置について玄関等に掲示し、保護者へ周知しておられます。 ③対応マニュアルを整備し、手順に沿って迅速に対応し保護者へ結果をフィードバックしておられます。
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ・b・c	
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・b・c	

Ⅲ-2 サービスの質の確保

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a・Ⓑ・c	①年2回（6月・2月）保育内容に関する自己評価を行っておられますが、組織的な対応が望まれます。 ②自己評価結果に基づき検討会（パートを除く全職員）を開催し改善点等について話し合いを行っておられますが、改善実施計画は立てておられません。
Ⅲ-2-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実行している。	a・Ⓑ・c	
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a・b・Ⓒ	①②法人の保育理念や基本方針、保育課程に基づき、児童票、保育月案、週日案記録簿を作成され、それに基づきサービスを提供しておられますが、「業務マニュアル」は策定されていません。 ②「業務マニュアル」が策定され、標準的な実施方法を文書化し、定期的な見直しを行う仕組みの確立に期待します。
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・Ⓒ	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・b・c	①児童票や法人独自で3歳未満児個別保育計画等が策定され、記録も整備されています。 ②個人情報保護規程等に基づき、責任者が定められ記録を管理しておられます。個人情報が含まれる記録は、施錠できる場所に保管しておられます。 ③気になる子どもについては、職員会やクラスごとの会議で情報を共有し、周知しておられます。会議に出席できない早番の職員は、次の日に担任と園長から伝達を受けるようになっています。また、ケース会議を必要に応じて開催しておられます。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・b・c	
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・b・c	

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・b・c	①法人のホームページに保育の目標や年間行事を掲載し、園の情報を提供しておられます。また、一時保育、施設見学者にはパンフレットを配布しておられます。 ②利用開始にあたっては、入園のしおりに沿って説明し、保護者からの同意を得た上で書面に残しておられます。
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・b・c	
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・Ⓑ・c	①卒園児には、保育要録、支援シートを作成しておられます。転園の場合は、口頭での引き継ぎを行っておられます。保育の継続性を損なわないためにも、引き継ぎの手順等を定めておくことが望まれます。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a・Ⓑ・c	①定められた手順書はありませんが、年度当初に家庭状況調査表、緊急連絡カード等の提出と内科検診や面接等を行い、子どもの状況を把握しておられます。
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・b・c	①保育課程に基づき、児童票、保育月案、週日案を作成し相互の関連性を持たせておられます。 ②実施計画の評価・見直しは定期的に行っておられますが、組織として手順は定めてありません。子ども一人一人に対する保育の質の向上を図るためにも、組織的な評価の仕組みを定めることが必要です。
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a・Ⓑ・c	

福祉サービス第三者評価結果 (付加基準—保育所版—)

※すべての評価項目（24項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

A-1 保育所保育の基本

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	Ⓐ・b・c	①園の保育方針、目標に基づき、連絡ノート等から保護者の意向を考慮しながら保育課程を作成しておられます。 ③クラス会議を行い、一人一人の発達に応じた保育を心がけておられます。1・2歳児が同室で過ごしているため、机の置き方を工夫する等環境を整備され、子どもが安心して過ごせるようにしておられます。 ④3歳以上児の保育においては、子どもが主体的に過ごせるようコーナー保育を行ったり、戸外遊びを多く取り入れるようにしておられます。異年齢児と一緒に芋植えをしたりして協同的な活動に取り組んでおられます。 ⑤小学校生活に見通しが持てるよう保護者と話し合いの場を持ち、年長クラスは就学前に午睡をやめる等配慮しておられます。また、小学校との話し合いの場を設けたり、参観日に見学するなど交流を行っておられます。
A-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c	
A-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	Ⓐ・b・c	
A-1-(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	Ⓐ・b・c	
A-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。	Ⓐ・b・c	
A-1-(2) 環境を通して行う保育		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・b・c	①各部屋にエアコンを設置し、採光、換気に配慮しておられます。子どもの表情、態度から思いを受けとめたり汲み取ったりし、安心して過ごせるようにしておられます。スキンシップに心がけ、不安感の強い子には1対1で寄り添えるようサポートしておられます。 ②食事、排泄、着脱等、一人一人の子どものリズムに合わせて自分でできるよう声かけや見守りをしておられます。 ③遊びに必要なクレパス、サインペン、粘土等は、子どものロッカーに常備し、自由に取だし遊べるようにしておられます。異年齢の活動については、計画を立てて子どもの満足感や達成感を共有するような働きかけをしておられます。 ④夏野菜の栽培、カメの飼育など、子どもが身近に動植物に接する機会を作っておられます。ひな祭り、敬老会等地域の人との関わりを大切にしておられます。 ⑤絵本の読み聞かせや、絵本の貸し出しを行い、絵本に触れる機会を設けておられます。園の特色としてリトミック保育を取り入れ表現活動が体験できるようにしておられます。
A-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	Ⓐ・b・c	
A-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・b・c	
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかわかれるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・b・c	
A-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・b・c	

A-1-(3) 職員の資質向上		
A-1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	Ⓐ・b・c	①年2回の自己評価を行い職員会で話し合い、保育の振り返りを行っておられます。専門性の向上や保育実践の改善を図るようにしておられます。

A-2 子どもの生活と発達

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 生活と発達の連続性		
A-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	Ⓐ・b・c	①保育理念に基づき保育計画を作成し、一人一人の子どもの育ちを受けとめた関わりや援助をしておられます。
A-2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・-・c	②障がいのある子どもについての研修への参加や勉強会を実施しておられます。就学前の子どもの保護者へ特別支援学校等の情報を提供しておられます。
A-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	Ⓐ・b・c	③伝達記録簿を使用し、引き継ぎがスムーズにできるようにしておられます。また、一人一人の子どもに応じた遊びができたり、異年齢の子ども同士が遊べるようコーナーを設置しておられます。
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
A-2-(2)-①子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	Ⓐ・b・c	①健康観察マニュアルを整備し、それに基づき健康管理を実施しておられます。子ども一人一人の予防接種、既往症、アレルギー等について保護者から情報を得ておられます。
A-2-(2)-②食事を楽しむことができる工夫をしている。	Ⓐ・b・c	伝達記録簿や各クラスの個人チェック表に、日々の体調を明記し全職員で把握し、情報を共有しておられます。 ②食育計画に基づきカレークッキング、よもぎ団子づくり等季節に合ったクッキングを実施し、興味や関心を育むようにしておられます。また、子どもが育てた野菜を収穫し、料理して食べることもあります。子どもの誕生日には、調理員が折り紙等でつくった作品を机の上に置き、楽しむことができるような工夫をしておられます。
A-2-(2)-③乳幼児にふさわしい食事が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	Ⓐ・b・c	③月1回、残食記録を基に献立検討会を行い、米子市の共通献立の見直しに活かすようにしておられます。
A-2-(2)-④健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	Ⓐ・b・c	④結果は、保護者に通知し、異常がある場合は治療を勧めておられます。また、職員間でも情報を共有し、保健計画に反映させ、保育を行っておられます。
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
A-2-(3)-①アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	Ⓐ・b・c	①食物アレルギーや体調不良の子どもには、除去食、配慮食を提供しておられます。アレルギー事故予防マニュアルに基づき、主治医から指示書をもらい保護者、調理員、保育士等で面談を行い、食事を提供しておられます。アレルギー児の対応方法については、給食会議で職員間で情報共有をしておられます。
A-2-(3)-②調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	Ⓐ・b・c	②衛生管理マニュアル、食中毒予防対応マニュアルを作成し職員に周知・研修を行っておられます。

A-3 保護者に対する支援

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 家庭との緊密な連携		
A-3-(1)-①子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	○a・b・c	①献立表を事前に家庭へ配布したり給食レシピを提示したりして、保護者に保育所で提供する食事に対する関心を促しておられます。
A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	○a・b・c	②個人懇談、家庭訪問を実施し、保護者の相談に応じておられます。また、連絡ノートや送迎時に保護者にその日の様子を伝えるなど日常的な情報交換を行っておられます。
A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	○a・b・c	③年2回（春・秋）の参観日やクラスごとに親子で集まり、保護者に保育についての理解を促す機会を設けておられます。また、子どもの園での様子をクラス便り等で伝えておられます。
A-3-(1)-④虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	○a・b・c	④毎朝の登園時に、子どもの健康観察をし、それを伝達記録簿に記録し担任に伝達しておられます。また、送迎時の保護者の表情、子どもの様子等からサインを見逃さないようにしておられます。